

セント・ルカ産婦人科

LUKE MAGAZINE WINTER

ルカ新聞

No.16
2007.12.

富士山

柘さ
榴くろ

さてイエス聖霊にて満ち、ヨルダン河より帰り、荒野にて40日のあひだ御霊に導かれ、悪魔に試みられ給ふ。この間何も食はず、日数満ちて後飢え給ひれば、悪魔いふ。「なんぢ若し神の子ならば、此の石に命じてパンと為らしめよ。」イエス答へたまふ。「人の生くるはパンのみに由るにあらず、と録されたり。」

ルカ福音書 4章1の4(文語訳より)

これは聖書の中でもっとも有名な箇所です。ひとへ生きるにはパンのみにあらず、さらに心、魂、スピリットも必要であるといエスは述べています。先日、沖縄で、韓国・台湾・日本のクリスチャン医師の集まりがありました。約100名が参加し、それぞれ3分の1くらいの割合で和氣藹々に会合は進行了ました。その中で、やはり韓国はクリスチャンが多く、ある病院でも年間2500人の入院があり、退院時には500人が洗礼を受けていくとのこと驚きました。手術前には患者さんとお祈りをし、また病棟でも困難なとき、苦しいときなど病院スタッフが患者さんと一緒に病室でお祈りをする場面がスライドでもたくさん紹介されました。あのアフガニスタンで21名が拉致され、帰ってきた方たちの、その後の精神的治療も行っているとのことでした。このような重大なケースでは、必要なケアと想いますし、また、ホスピスでは単に心理的な関与だけでなく、さらに精神、魂にも触れうるケアが必要と想います。此の会に初めて参加し、医療とは医学的に体を治療する、心理学的に精神、心をケアする、そして場合によっては、その人の魂、スピリットまでケアの範疇に入れるべきときも考えなければならぬと思いました。日本人にはこの魂、スピリット、聖霊という言葉に非常にナイーブ(本来の意味で)です。しかし、今やそこも考えていくべき時が来たと思いました。



生殖医療を受ける人の心構え、 行う人の心構え

院長 宇津宮 隆史

赤ちゃんができずに悩んでいる140万組の夫婦が全国にいます。生殖年齢夫婦の15%です。そのうち40万組が治療を受けています。さて、なぜ不妊治療を受けるのでしょうか。赤ちゃんがほしいからです。しかし、もっと根本的に、なぜ赤ちゃんがほしいのでしょうか。本能でしょう。しかし、基本に戻って考えてみましょう。基本とは結婚したときのことです。結婚したときは何も「此の人の子供を生むため」などではなく、ただお互いに好きになり、「此の人と一緒に暮らせれば楽しいだろう」と考えて結婚した。してみると確かに楽しい暮らしがあった。一緒に旅行に行ったり、食事をしたり、映画を見たり、時間の制限なく楽しい暮らしが満喫できるようになった。そこで「そろそろ赤ちゃんも」と思ったけどできない。そこで検査、治療に入ったのです。要するに、赤ちゃんはご夫婦のたくさんある楽しみの一つなのです。基本は「夫婦で楽しく暮らす」ことです。そして、もし夫婦の楽しみと不妊治療がバッティングすることがあれば、どちらか好きなほうを選ばよいのです。何でもかんでも不妊治療にかけるとするのは良くないと思います。そのような局面にぶち当たったときには、ご夫婦でよく話し合っ、どっちを取るか、ご夫婦で決めてください。此のとき他人(親、兄弟、友人など)には決して相談せずに二人で決めること。そうして一步一步進みましょう。さて、不妊治療はいろいろあります。簡単なタイミング法から人工授精(最近では選別精子子宮内注入法という)、体外受精、顕微授精、受精卵診断後移植などです。これらにはステップがあります。簡単な方法で妊娠する場合から何回も体外受精を試みてやっと成功する場合などです。結果はただ妊娠でまったく同じですから気がつきませんが、実はこれらのステップを考えると大きな差があることがわかります。たとえば、癌の治療に例えてみます。初期癌なら簡単な手術ですぐ治り、その後の定期検査も楽です。進行癌なら、化学療法と放射線療法、果ては広範な手術摘出術、リンパ節かくせい術など大変です。しかも、その結果はどうなるか予測がつきません。これに例えれば、タイミング法で妊娠するのは初期癌と同じですし、体外受精を何回も行ふ必要があるのは進行癌の治療と同じで大変手間がかかり、経済的にも社会的にも心理的にも大変です。ですから高度生殖医療に進むのはそれなりの覚悟が必要です。

また、生殖医療は不妊夫婦のためにあるよりもむしろ、まだ生まれていない子供のその後の幸福のためにあると考えます。その子が大きくなって「生んでくれてありがとう」と感謝されるような治療をするべきです。よってリスクの高い患者さん(肥満、喫煙、高血圧、糖尿病、その他いろいろ)は健康になってから不妊治療をしなければならないと考えます。そう考えれば、代理母や提供精子、提供卵子、提供受精卵を用いた不妊治療にはおのずから制限が生まれます。当然です。不妊治療は不妊夫婦だけのものでも不妊治療者のものでもなく、生まれてくる赤ちゃんのためにあるからです。また、最近、やっとなりハイ・リスク妊娠が話題になるようになりました。できるだけハイ・リスク妊娠は避ける努力をすること。上記の健康な体になってからお母さんになる資格ができること、なるべく多胎妊娠は避けること、それは患者さんだけでなく、生殖医療担当者も心がけて患者さんにアドバイスしなければなりません。分娩はそんなに簡単なことではありません。20年以上前から、分娩は、一生に1度か2度のイベントだとか言って豪華な設備とフランス料理、エステ室などを備えた産婦人科が盛んになりましたが、とんでもないことです。分娩は患者さんも医療者側も心して慎重に対処すべきことで、急に状態が変化することもあります。浮ついた気持ちで分娩に臨むべきではなく、さらにそのような傾向の強い病院の実力は疑わしいと思って間違いありません。

私たち生殖医療担当者と患者さんは、一緒になって最初から最後まで幸福な子供が授かるように、一つ一つまじめに慎重に対処してゆきましょう。

第14回セント・ルカセミナーが行われました！



醍醐渡辺クリニック 森崇英先生



慶応義塾大学教授 吉村泰典先生



新古賀病院 臨床遺伝学指導医 斉藤仲道先生



東北大学 有馬隆博先生



活発なディスカッションが行われました！

2007年7月1日(日)、第14回セント・ルカセミナーが行われました。

晴天の中、約80名の方が参加してくださいました。

慶応義塾大学 医学部産婦人科教室 教授 吉村泰典先生より、「再生医療への道—生殖医療の立場から—」といった観点から、クローン技術のこれからの展望についてのお話からセミナーが開始しました。醍醐渡辺クリニック 不妊センター長 京都大学名誉教授 森崇英先生より、不育症の最近の動向について様々なデータを示しながら、お話をいただきました。

また、東北大学 客員助教授 有馬隆博先生より最近世界で注目されつつある、生殖医療におけるゲノムインプリントの問題点と今後の展望についてのお話があり、Fineの会のピアカウンセラーの方の「不妊治療を経験して、嬉しかったこと、悲しかったこと」について実際の患者さんの立場からお話をしてくださいました。そして最後に、医療法人天神会新古賀病院 臨床遺伝学指導医 遺伝カウンセラーでもいらっしゃる斉藤仲道先生より、「着床前診断；遺伝子・染色体検査精度をどう担保するか」について、分かりやすい説明がありました。

今回も、今後の生殖医療に伴い注意していかなければいけないことや、最新の情報に関して5人の先生よりご講演をさせていただき、たくさんの刺激を受け、また大変勉強になりました。

研究室だより

タンパク質解析に着手!!

研究室 佐藤 久子

タンパク質といえば、肉や魚、卵、大豆といった食品のタンパク質がすぐに思い浮かぶかもしれませんが、糖質、脂質とともに三大栄養素として知られていますね。

生命の最小単位は細胞です。例えばヒトは約60兆個の細胞からできています。さらに細かくみると、細胞の中、あるいは細胞と細胞の間は様々な生体分子(タンパク質、脂質、糖質、核酸など)で構成されています。その中で、タンパク質はもっとも量が多く、かつヒトでは4万~5万というとても多くの種類のタンパク質が作られています。体内では、皮膚、筋肉、血液、骨、髪の毛などを構成するもの、消化などの化学反応に必要な酵素のほか、ホルモンや抗体など、さまざまな物質がタンパク質から作られています。

みなさんご存知の2002年にノーベル化学賞を受賞した田中耕一氏は、タンパク質を解析する機器を開発しました。この開発により、今まで未知であったタンパク質の解析ができるようになりました。

当院でも、2007年度よりタンパク質解析に着手しました(2007年日本生殖医学会発表)。受精する卵子と受精できなかった卵子は、どこが違うのか??など、様々な疑問点に挑戦していく予定です。



私たちはタンパク質で出来ている仲間です♪

~重要なお知らせ~

精子凍結には感染症検査が必要です!

現在、当院では大きな凍結タンクに複数の患者さんの検体が保存されています。

凍結タンク中の液体窒素でも、ウイルスは生存できるということが論文などで報告されています。

そのため、液体窒素からの感染を防ぐ為に、当院では胚や精子はすべてストロー内に封入して保存するので感染の危険はありません。しかし、万にひとつの可能性を考えて、精子凍結を行う患者さんには採血をお願いして、肝炎など4種類の感染症検査を行っています。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



研修がんばってます!



札幌厚生病院
検査技師 西井 由貴さん

JA北海道厚生連札幌厚生病院から研修に来ました西井由貴です。

10月1日から3月31日までの半年間培養室で研修を受けさせていただくことになりました。毎日学ぶことが多く、また色々刺激も受けたりと、とても充実した研修を受けさせていただいております。

まだまだ勉強不足な部分も多いですが、出来る限りの技術・知識を学んでいきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。



看護部だより

女性患者の意識調査

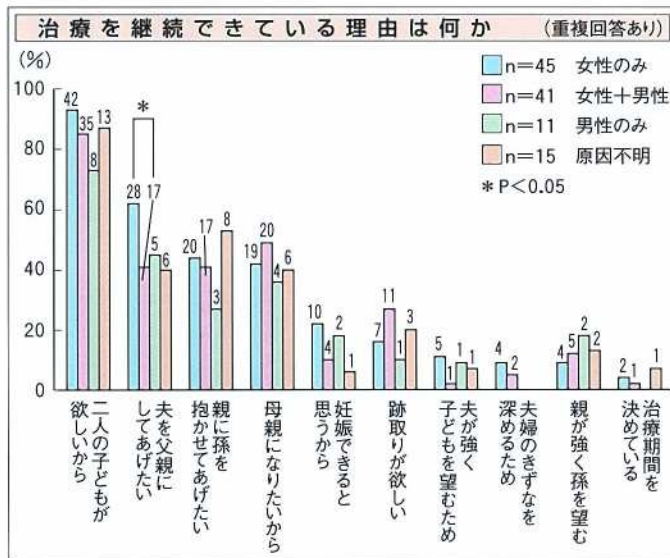
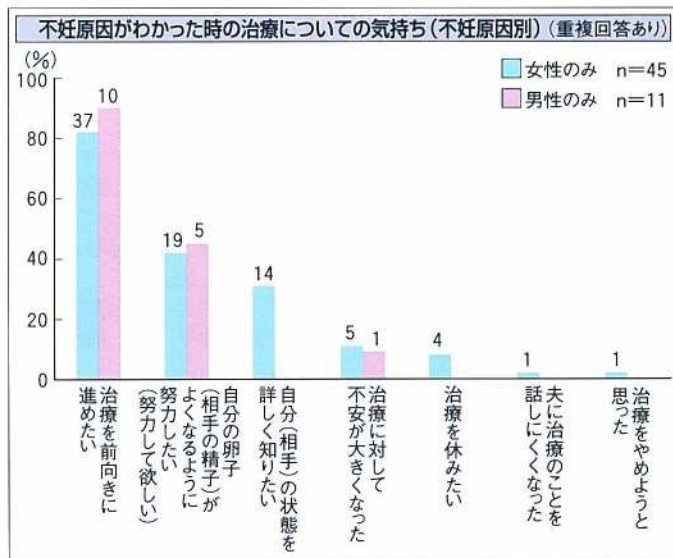
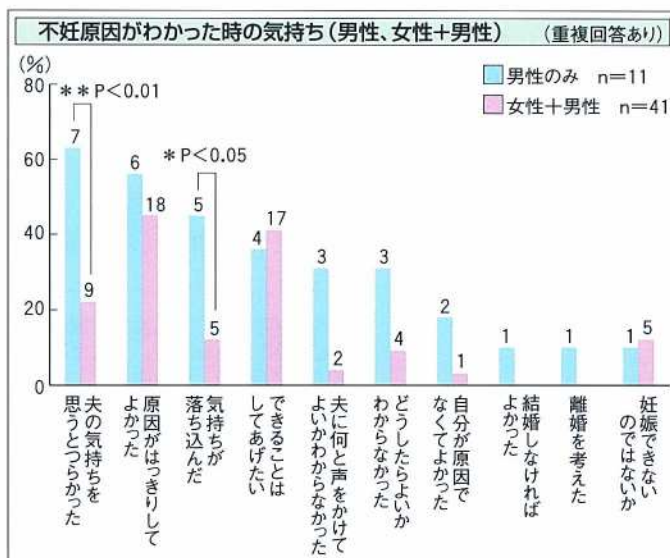
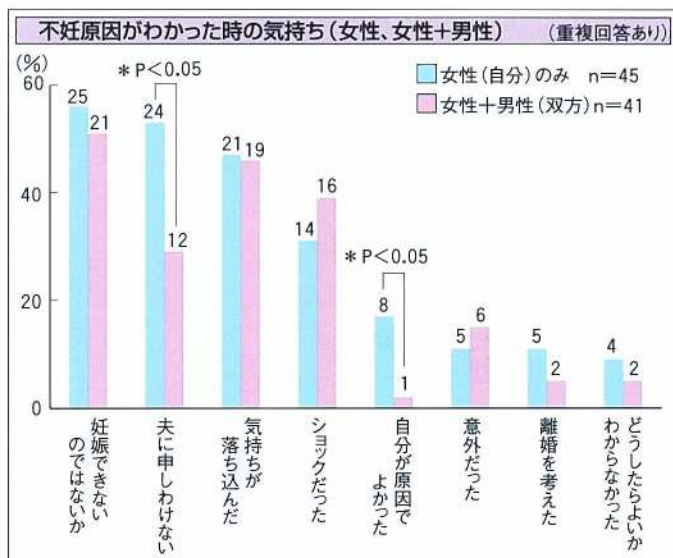
—不妊原因による比較検討—

看護部 篠田 多加子

近年、不妊症は増加傾向にあります。

2006年、当院にて男性側に不妊原因があり、妊娠に至った妻について治療中の意識調査を行いました。約80パーセントのかたが事実を受け止め、治療に対して前向きに取り組んだという回答を得られました。

今回は、妊娠に至っていない、現在通院治療中の女性患者を対象に、不妊原因別に意識調査を行ったので報告します。



結果

- * 前回の調査結果と同様に、治療中の女性においても男性不妊に対して否定的な感情を持つことは少なく、夫に対して思いやりの気持ちを持つ人が多いことが再確認されました。
- * 女性に原因がある場合「妊娠できないのではないか」という不安が高く、「夫に申しわけない」と思う気持ちが強いという結果であった。
- * 男性に原因がある場合、思いやりの気持ちが強い一方で、「気持ちが落ち込む」「夫になんと声をかけてよいか分からなかった」などの複雑な心境が伺えた。
- * どの不妊原因においても、治療に対しては前向きに取り組む姿勢が強いことがわかりました。今後も患者さんの気持ちを受け止めサポートに活かしていきたいと思えます。アンケートのご協力ありがとうございました。

心理相談室より

こんなことは、ありませんか？

最近なんだか疲れている、この先のことが気になる、気分が落ち込むことが多い
なんだかやる気がでない、いらいらすることが多い etc.

もしかしたら・・・

自分でも気づかない内に、ストレスが溜まっているかもしれませんね
あまり難しく考えないで、治療のこと、夫婦のこと、人間関係
など少し気になることでも、一度お話に来てみませんか？
大きな悩みになる前に小さな芽を摘むことができるかも知れません

どうぞお気軽にご利用ください。

相談してみてもいいなと思う方は、看護師、受付スタッフに声をかけてください
〔料金：一回一時間を目安に1370円（体外受精の方は無料）〕



心理士相談 …… 火、金、土曜日（予約制）	看護師又は受付に 申し出て下さい。
何でも相談 …… 随時、主に土曜日 午後（予約制）	
院長相談 …… 月、水、金 夕方（予約制）	
外来相談 …… 随時、外来の相談係り	

受付より

今年度の助成金の申請は3月までですので、早めの申請をお願いします。わからない事はなんでもきいてください。 足立

受付の新リーダーの越名です。患者さんの心がほっとするような受付を目指して頑張りたいと思います。目配り心配り！

いつも笑顔がモットーです。ルカで働くようになって、脳の記憶の部分がかなり活性化されました。患者さんの顔と名前も数回みれば覚えます！ 梅田

9月の終わりに受付に入りました。先輩方のような受付のスペシャリスト目指して頑張りますので、よろしくをお願いします！ 佐土原



入社して4ヶ月たちました。まだまだわからない事だらけで悪戦苦闘していますが、楽しい先輩方に助けてもらいながら頑張ってます。よろしくをお願いします。 かしこまりました！ 西郡



越名主任をリーダーに新しい受付がスタートしました。3年ぶりに新人も加わって、毎日奮闘しています。スムーズにいかないこともあるかとおもいますが、少し温かい目で見ていただければ助かります。成長し続ける受付であるように頑張りますので、よろしくをお願いします。

14th World Congress on In Vitro Fertilization & 3rd World Congress on In Vitro Maturation 参加報告

2007年9月15日より、カナダのモントリオールにて行なわれた国際学会に参加してきました。モントリオールは、大分の11月くらいの気温でした。カナダといえば、メープル(かえで)というイメージがありますが、紅葉はまだいまひとつといった感じでした。でも郊外は少しずつ山の景色も変わってきているようで、秋の気配を感じることができました。



学会場の
「Fairmont The Queen Elizabeth Hotel」にて

学会では、卵子の体外成熟培養や、現在のARTの世界において、注目されている話題や臨床成績についてなど、広い視野で勉強ができました。研究室からも、2題のポスター発表をさせていただきました。



NEW 職員紹介



看護部 岡田 清美

セント・ルカに入職して4ヶ月が経ちました。慣れないことが多く毎日悪戦苦闘していますが、患者さんの力となれるように一生懸命がんばります。宜しくお願いします。



受付 西郡 朝美

セント・ルカに来て4ヶ月が経ちました。覚えることが多く、毎日があっという間に過ぎていくような感覚です。少しでも早く、受付としての仕事をこなせるよう頑張っていこうと思っています。よろしくお願いします。



受付 佐土原 香織

セント・ルカに入ってまだ1ヶ月ちょっとしか経っていないので、毎日全てのことが勉強です。まだまだ足りないところが多いけれど、いつも笑顔で心がけて精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



厨房 別所 かおり

食べるのが好きで料理の仕事を始めました。仕事としての経験はまだ浅いですが、美味しいものを提供できるよう心がけて努めます。よろしくお願いします。

2007年 後期を振り返って

07.01	第14回 セント・ルカセミナー 講師 吉村泰典先生 (慶應義塾大学医学部産婦人科教授) 「再生医療への道」 講師 森藤英先生 (慶應義塾大学産科不妊センター長、京都大学名誉教授) 「習慣流産の取扱い」 講師 有馬隆博先生 (東北大学21世紀COEプログラム独立COEフェロー客員助教授) 「生殖補助医療におけるゲノムインプリントの問題点と今後の展望」 講師 辻英美さん (NPO法人Fine ~現在・過去・未来の不妊体験者を支援する会~) 「不妊治療を体験して、嬉しかったこと、悲しかったこと」 講師 斎藤伸道先生 (医療法人天神会新古賀病院臨床遺伝学指導員 遺伝カウンセラー) 「着床前診断~遺伝子・染色体検査精度をどう担保するのか~」	10.16	第103回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院
07.02	内田クリニック(島根) 坂本ルミ先生研修のためご来院	10.18	第26回 大分市医師会産婦人科~内分泌・不妊・代謝~懇話会 参加 (山路、平松、佐土原、西郡、梅田、越名、佐藤久、那須、城戸、長木、大津、岡田、深田、井澤、桑野、足立直、松元、関、齊高、越光、赤嶺、篠田、門屋、原井、指山、西井(札幌厚生病院より研修中)、院長) 「不妊症に対するレーザー治療」(日本医用レーザー研究所 所長 大城俊夫先生)
07.04	参議院議員 山崎まや氏ご来院	10.18	大分市市衛消防競技大会 参加 (工藤由、佐藤久、三重野)
07.05	セント・ルカセミナー 打上げ	10.20	第126回 体外受精教室 参加者52名 参加 (佐土原、西郡、桑野、三重野、齊高、西井(札幌厚生病院より研修中))
07.07	第25回 新患教室 参加者41名 参加 (岡田、深田、河野、足立直、指山)	10.20	第5回 第3期・第4期合同オリープの会 参加者4名
07.12	ISO勉強会 日本LCA 田中繁充氏ご来院	10.21	第14回 遺伝性疾患に関する出生前診断研究会(久留米) 参加 (佐藤晶、院長) 発表: 「口(ハート)型胎座保因者における着床前診断」(大津英子)
07.13	新職員 西郡朝美さん(受付)	10.25	第52回 日本生殖医学会総会・学術講演会(秋田) シンポジウム: 「高齢婦人におけるカウンセリングとサポート」(院長) 発表: 「マウス胚におけるプロテオーム解析」(佐藤久子) 「ヒト精子におけるインプリント遺伝子のメチル化解析」(佐藤晶子) 「体外受精と精子 DNA 損傷率についての検討」(長木美幸) 「CMI健康調査による不妊症患者の健康状態について」(酒井操) 「女性患者の意識調査~不妊原因による比較検討~」(篠田多加子) 「妊娠に至らず治療を終了した元患者を囲む会」を開催して(上野桂子)
07.21	大分セロックスDokuWorks教室 参加 (山路、工藤由)	10.25	第52回 日本生殖医学会総会・学術講演会SarahBaseブース展示(秋田) 参加 (山路、工藤由)
07.21	第123回 体外受精教室 参加者51名 参加 (西郡、岡田、桑野、三重野、齊高)	10.25	A-PART 打ち合せ会議(秋田) 参加 (院長)
07.24	ISO9001外部審査 NQA-Japan 川合健一郎氏ご来院	10.27	第3回 2007年度(第1期)不妊相談士養成講座(東京) 講師 (上野) 参加 (城戸、後藤裕、門屋)
07.26	大分医療事務専門学校 丸石絵莉さん医療機関見学のためご来院	10.28	第4回 大分県母性衛生学会総会・学術集会(大分) 参加 (佐土原、西郡、越名、岡田、井澤、桑野、二宮、齊高、越光、赤嶺、篠田、指山、上野) 発表: 「CMI健康調査による不妊症患者の健康状態について」(酒井操) 「当院の15年の不妊症診療の成績」(院長)
07.27	福岡BMT研究会(福岡) 参加 (那須、後藤香里)	10.29	国際医療福祉大学 清水清美さん研究調査依頼のためご来院
07.27	岩手県立農業大学校 後藤貞さん院内外見学のためご来院	11.01	日・韓・台 土リスト教病院 最高経営者会議(沖縄) 参加 (院長)
07.28	第2回 2007年度(第1期)不妊相談士養成講座(東京) 参加 (城戸、後藤裕、門屋)	11.01	院内電話工事開始
08.04	第31回 「赤ちゃん~今ならきつと授かる~」講座(大分・トキハ会館) 参加者65名 講師 (指山(看護師長)、上野(臨床心理士)、院長、おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生) 参加 (工藤由、西郡、足立小、渡邊、那須、岡田、深田、後藤裕、河野、足立直、篠田)	11.02	卵巣に関する国際カンファレンス2007(箱根) 参加 (院長) ポスター発表: 「Evaluating the quality of human embryos with a measurement of oxygen consumption by scanning electrochemical microscopy」(後藤香里) 「The Efficacy of Transfer the Embryos Frozen-Thawed Twice」(熊迫陽子)
08.04	第32回 ガーネットサークル OG1名、参加者4名	11.06	第104回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院
08.10	共同通信社 浅見英一さん「精子インプリント遺伝子異常」についての取材のためご来院	11.06	東京 HART クリニックSarahBase導入のための最終打ち合せ(東京) 参加 (山路、工藤由)
08.11	A-PART 日本支部学術講演会2007(東京) 参加 (佐藤晶、熊迫)	11.06	第33回 ガーネットサークル OG1名、参加者4名
08.14	第101回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院	11.11	東北大学大学院医学系研究科(宮城) 有馬隆博先生と基礎実験 参加 (佐藤晶)
08.17	県立広島病院 賀能知江さん、藤田恭子さん、榎田彩さん研修のためご来院	11.17	第28回 新患教室 参加者44名
08.18	第124回 体外受精教室 参加者46名 参加 (山路、桑野、三重野、酒井、齊高)	11.17	第1回 第5期オリープの会 参加者8名
08.18	第4回 第3期・第4期合同オリープの会 参加者4名	11.18	RTAC 施設認定審査員研修(大阪) 参加 (大津、門屋、上野、院長)
08.18	遺伝カウンセラー・コーディネーターユニットシンポジウム(京都) 参加 (城戸、大津)	11.23	A-PART 日本支部主催2007年度第2回ワークショップ(東京) 講師 (大津、参加 (佐藤晶)) 「着床前診断の理論および手法に関するテクニカルワークショップ」
08.21	防災訓練	11.24	第127回 体外受精教室 参加者46名
08.28	アンジェリック クリニック浦田 院長 浦田憲一郎先生、師長 齋崎千沙さん、看護師 佐藤祐子さん、石富玲子さん ミーティング見学のためご来院	11.27	ISO9001 マネジメントレビュー 田中繁充氏ご来院
08.28	大分合同新聞より共同通信社記事「精子インプリント遺伝子異常」掲載を受けての取材	12.01	第32回 「赤ちゃん~今ならきつと授かる~」講座(大分・トキハ会館) 参加者75名 講師 (指山(看護師長)、院長、おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生)
08.30	第25回 日本受精着床学会総会・学術講演会(宮城) 参加 (指山、院長) 座長: シンポジウム3 「臨床心理カウンセリングの実践2007」(上野桂子) シンポジウム5 「ARTにおける基礎分野との産学連携」(院長) シンポジウム: 「当院の着床前診断への取り組み」(大津英子) 発表: 「CMI健康調査による不妊症患者の健康状態について」(酒井操) 「女性患者の意識調査~不妊原因による比較検討~」(篠田多加子) 「ヒト精子におけるメチル化解析」(佐藤久子) 「採卵時の麻酔薬がマウス胚発生に及ぼす毒性の影響」(那須恵) 「当院における体外成熟(IVM)卵子の妊娠成績」(後藤千賀子) 「conventional IVF後の未受精卵に対するICSIの検討」(城戸京子) 「呼吸能測定によるヒト胚クオリティ評価の試み」(後藤香里) 「妊娠に至らず治療を終了した元患者を囲む会」を開催して(上野桂子)	12.01	第4回 2007年度(第1期)不妊相談士養成講座(東京) 講師 (上野) 参加 (城戸、後藤裕、門屋)
08.30	第25回 日本受精着床学会総会・学術講演会SarahBaseブース展示(宮城) 参加 (山路、工藤由)	12.01	医療安全管理者養成研修1 参加 (酒井、越光)
08.30	第20回 JISART理事会(宮城) 参加 (院長)	12.06	大分県立看護科学大学講義 講師 (上野、院長) 講義: 「不妊症講座」(院長) 「不妊症講座~心理とサポーター」(上野桂子)
08.31	日本生殖医療心理カウンセリング学会役員会(宮城) 参加 (上野、院長)	12.07	医療安全管理者養成研修2 参加 (酒井、越光)
09.01	第26回 新患教室 参加者60名 参加 (西郡、深田、後藤裕、河野、指山、院長)	12.08	第4回 ご夫婦二人だけの人生を過ごされた元患者さんのお話
09.01	大分市医師会学術講演会 参加 (井澤、関、齊高、越光、赤嶺、篠田、門屋、原井、指山、院長)	12.08	医療安全管理者養成研修3 参加 (酒井、越光)
09.08	講演会「医療事故を繰り返さないために」(大分) 参加 (大津、越光、篠田、上野)	12.13	医療安全管理者養成研修4 参加 (酒井、越光)
09.08	大分県看護協会研修会「看護と感染管理」 参加 (門屋)	12.14	平成19年度 看護管理者研修会 参加 (門屋)
09.08	第44回 九州首市医師会連絡協議会(福岡) 参加 (院長)	12.15	第21回 JISART理事会(東京) 参加 (院長)
09.08	第102回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院	12.16	RTAC 施設認定審査員研修(東京) 参加 (院長)
09.12	英ウィメンズクリニック(兵庫) SarahBase デモンストラレーション (山路、工藤由)	12.21	医療安全管理者養成研修5 参加 (酒井、越光)
09.13	ISO勉強会 日本LCA 田中繁充氏ご来院	12.22	忘年会
09.15	ISIVF 14th World Congress on In Vitro Fertilization & 3rd World Congress on In Vitro Maturation (CANADA) 参加 (院長) 発表: 「Evaluating the quality of human embryos with a measurement of oxygen consumption by scanning electrochemical microscopy」(後藤香里) 「The Efficacy of Transfer the Embryos Frozen-Thawed Twice」(熊迫陽子)	12.24	クリスマス会
09.16	「すまいる」勉強会(東京) 参加 (門屋)	著書	長) 「胚盤胞移植」「産婦人科一専門医にさく最新の臨床」(中外医学社) 「胚盤胞期胚移植」『産科 医学のあゆみ』223巻1号 (医歯薬出版株式会社) 「赤ちゃん~今ならきつと授かる~改訂版」(セント・ルカ産婦人科) 「電気化学的呼吸能計測によるヒト胚のクオリティ評価」『産婦人科の実際』(掲載予定)
09.22	第125回 体外受精教室 参加者46名 参加 (西郡、岡田、桑野、酒井、三重野、齊高)	論文	<那須 恵> 「ヒト胚における呼吸能計測によるヒト胚のクオリティ評価」『産婦人科の実際』(掲載予定)
09.25	新職員 佐土原香織さん(受付)	院	長) 「生殖医療と社会」セミナー医療と社会 31.3-14.2007
09.29	第10回 日本 IVF 学会(横浜) 参加 (城戸)	<上野 桂子> 「不妊症患者の心理的ストレスとサポートグループ介入の効果」臨床心理学(投稿中)	
		<大津 英子> 「ヒト胚における割球大小不同と染色体異常の関係」受精着床学会雑誌 24(1):34-37,2007	
10.01	胚培養士技術研修 札幌厚生病院(北海道) 西井由貴さん(2008年3月31日まで)	<長木 美幸> 「ウレアプラズマ感染が生殖補助医療に及ぼす影響」受精着床学会雑誌 24(1):222-225,2007	
10.03	英ウィメンズクリニック(兵庫) SarahBase導入打ち合せ (山路、工藤由)	<熊迫 陽子> 「The Efficacy of the Transfer of Twice Frozen-Thawed Embryos with Vitification Method」Fertility and Sterility (掲載予定)	
10.06	第27回 新患教室 参加者51名 参加 (佐土原、西郡、深田、後藤裕、河野、指山)	<佐藤 晶子> 「Aberrant DNA methylation of imprinted loci in superovulated oocytes」Human Reproduction 22(1):26-35,2007	
10.09	第6回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会 倫理委員: 上野徳美先生(大分大学医学部医学科社会心理学 教授)、緒方俊一先生(おがた泌尿器科医院 院長)、近藤邦子先生(別府平和園保育士)、指山実千代(セント・ルカ産婦人科 看護師長)、野村陽一先生(日本福音ルーテル大分教会 牧師) (あいうえお願)	<佐藤千賀子> 「Assessment of human oocyte developmental competence by cumulus cell morphology and circulating hormone profile」RBM Online 14(1):49-56,2007	
10.10	新職員 別所かおりさん(厨房)		

妊娠報告件数

(2007.6.1~2007.11.30)

体外受精、顕微授精等

98件

*

その他(体外受精以外)

94件

計 192件

編集後記

私事ですが、6年8ヶ月働いたルカを12月いっぱい退職することになりました。揭示物担当でセンスを磨いていたいただき、人と接することが大好きな私は受付として楽しく充実した毎日をご過ごすことが出来ました。優しく、厳しい先輩・仲間たちに囲まれて、新たな自分の発見、そしてひとまわりもふたまわりも成長させていただきました。とても大切な時間をルカで過ごすことができたことに感謝しています。また、私がここに生まれてくるのは簡単なことではなかったこと、親への感謝、気づかせてもらいました。ルカで培ったたくさんのことをこれからの新しい生活に必ず生かしていきたいと思えます。ひとりでも多くの患者さんが赤ちゃんを授かることを心よりお祈りしています。そして、院長先生、奥様、スタッフのみなさま本当にありがとうございます。
受付・梅田麻衣



院長先生と



JISART
Japanese Institution for Standardizing
Assisted Reproductive Technology

発行: 医療法人セント・ルカ産婦人科/セント・ルカ生殖医療研究所
〒870-0947 大分市津守富岡5組 ☎097-568-6060 097-568-6299
E-mail st-luke@oct-net.ne.jp http://www.st-luke.jp/
携帯サイト http://www.st-luke.jp/imode.htm